

一般社団法人地理情報システム学会第 30 回理事会 議事録

開催日時： 平成 25 年 10 月 25 日 18 時 30 分～20 時 20 分

開催場所： 慶應義塾大学三田キャンパス旧図書館 2F 小会議室

出席者： 浅見、矢野、巖、太田、関根、玉川、寺木、小口、小荒井、大佛（監事）
三原（広報委員会委員長）

欠席者：
柴崎、吉川（監事）

議事

・開会

定刻 18 時 00 分に浅見泰司会長が議長を務め、開会を宣言した。次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会が定足数を満たし有効に成立した。

理事総数 10 名

出席理事数 9 名

・審議事項

第 1 号議案 三原広報委員長から本学会 Web サイトの管理状況に関する報告があり、また HP とメールサーバの一元化と管理ツールのバージョンアップの提案があった。議論の結果、外部業者にサーバの移築を委託することにした。管理ツールのバージョンアップは当分行わないとした。

報告事項

報告 1 執務状況の報告

- ・ 小口財務担当理事から 4 月以来行った財務会計の検査状況の報告があった。
- ・ 太田 GISCA 担当理事から GISCA の認定状況の報告があった。また地方支部と連携した、啓蒙イベントも計画中との報告があった。
- ・ 玉川渉外・大会担当理事から渉外関連の報告があった。「日本地球惑星科学連合大会」、第 9 回学協会長会議などに参加した。小口理事から地球惑星科

学連合の関係で、毎年恒例で行っている学会のセッション（英語の「GIS」と「地理情報システム」）については、来年についても過去と同じ内容で申請した（コンビーナ（登録順）：小口、村山、柴崎、吉川）との報告があった。大会実行委員会として、台風 27 号接近のため、10 月 26 日、27 日に予定していた第 22 回年次学術大会は中止したことを確認した。KAGIS に関して、矢野副会長を中心に 13 名訪韓した。JST の査読システム利用に関して、年間投稿本数が 50 本に満たないため、認められなかった。

- ・ 関根学会賞担当理事から平成 25 年度学会賞選考結果の報告があった。研究奨励部門は村上大輔氏、教育部門は東京大学空間情報科学研究センター寄付研究部門が選ばれた。また教育委員会から平成 25 年度「初等中等教育における GIS を活用した授業に関わる優良事例表彰」の審査結果が報告された。国土交通大臣賞は田中隆志氏、地理情報システム学会賞は河合豊明及び伊能社中紙氏、毎日新聞賞は北岡武が選ばれた。
- ・ 小荒井支部 SIG 担当理事から関連報告があった。GIS NEXT への原稿執筆として、上記優良事例当選者に依頼することにした。
- ・ 寺木総務担当理事から定款、会員規約などの会員関連記述の見直しを進めている報告があった。

報告 2 事務局から電子国土賞の選考について、候補者の 1 名が、現在審査第 2 段階に進んでいる報告があった。

報告 3 事務局から消費税増額にともなう学会誌「GIS・理論と応用」の価格表示について意見が求められた。業界標準があるようでそれが出るまで様子を見ることにした。

報告 4 厳事務局長から入退会会費未納会員リストの報告があった。入会者は例年より若干少ないことが報告された。会費未納者に対して理事周辺にいる方に声をかけるよう呼びかけた。

その他 1 次回理事会は 2014 年 1 月 10 日 18 時～東京大学にて開催することにした。

その他 2 矢野副会長から G 空間 EXPO2013 のシンポジウム企画の説明があった。かかる費用は学会が負担することを確認した。

その他 3 台風 27 号接近による 2013 年度学術大会中止にともなう事後対応について

厳事務局長から関係各所への連絡状況を報告した。連絡方法として、web、

twitter、facebook 掲載、メールニュース配信（賛助・個人）、事前参加登録者へのメールまたは電話、機器展示企業へのメール及び電話、これまでにメールで大会の問い合わせのあった非会員にメール（周知の依頼）、優良事例表彰者（含国交省、毎日新聞）へのメールと電話、会場校正門守衛室に中止の連絡、会場予定だった校舎にも「大会中止のアナンス」を掲示、学会事務局の留守番電話で「大会中止」のアナンスなどを行った。また浅見会長より「会長声明」を発表して、学会 Web 及びメールにて関係各所に送信した。学会賞の表彰式は G 空間 EXPO のシンポジウムで行うこととした。

払い済みの参加費 3500 円に関して CD-ROM 代 2000 円を差し引いた 1500 円を返金する。払い済みの懇親会費 5500 円に関して全額返金する。返金手数料、CD-ROM 郵送代は学会が負担する。

バーチャル大会の実施可否について、議論した結果、実施するとした。11 月中に PPT（あるいは PDF）をどこかの Web サイトにアップロードしてもらう。アップロード先は Slideshare を推奨するが、これに限らない。発表者自身が好むサイトにアップしてよい。アップロード先の URL を事務局に知らせてもらう。事務局が URL を一覧にして学会 Web に掲載する。これに関する詳細な指示書は事務局で速やかに準備し、会員に周知する。12 月中に審査を行う。審査基準、審査委員の手配、結果の集計は学会賞委員会が担当する。大会発表優秀賞該当者の PPT に対しては大会で予定していた審査委員が審査する。ポスター発表に対しては理事が審査する。優秀作に対して 2013 バーチャル学術大会発表優秀賞、2013 バーチャル学術大会ポスター賞を授与する。審査結果は 2014 年 1 月の理事会で承認する。

閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が 20 時 20 分に本理事会の閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、理事 藤網林が本議事録を作成し、議長及び出席理事全員が記名押印する。

平成 25 年 10 月 25 日

一般社団法人地理情報システム学会

議長理事	浅見 泰司
出席理事	太田 守重
出席理事	小口 高
出席理事	巖 網林
出席理事	小荒井 衛
出席理事	関根 智子
出席理事	玉川 英則
出席理事	寺木 彰浩
出席理事	矢野 桂司
出席監事	大佛 俊泰